

やまと芸術文化ホールの運営状況について

資料 2-1

1 利用状況(利用者数、利用件数、利用種別等)

項目	R1												累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
貸館利用件数(団体別)	194	190	220	227	223	210	232	221	215	215	178	16	2,341
大和市	8	4	2	17	35	6	51	55	64	49	27	0	318
指定管理者	27	18	12	36	47	30	32	36	28	12	51	1	330
国、地方公共団体	7	6	10	6	16	6	24	6	9	6	8	0	104
公共的団体	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
文化芸術振興	131	136	160	130	103	127	92	106	99	101	65	10	1,260
その他	21	24	36	38	22	41	33	18	15	45	27	5	325
貸館利用件数(用途別)	194	190	220	227	223	210	232	221	215	215	178	16	2,341
芸術(音楽、演劇、舞踊、美術等)	74	91	125	96	110	78	104	91	109	101	70	5	1,054
メディア芸術(映画、アニメ等)	1	4	6	2	2	0	11	8	0	2	0	0	36
伝統芸能(雅楽、能楽、歌舞伎等)	14	0	0	0	0	6	8	2	4	2	0	0	36
芸能(落語、漫談、歌唱等)	34	31	13	29	40	11	16	17	22	12	0	2	227
生活文化(華道、書道等)	30	24	24	30	18	35	34	39	23	17	21	3	298
講演会、集会、式典等	12	6	15	8	0	3	23	2	9	7	30	4	119
その他	29	34	37	62	53	77	36	62	48	74	57	2	571
貸館利用者数	19,128	16,539	20,922	21,438	18,788	22,064	23,447	19,499	19,424	17,682	14,979	713	214,623
メインホール	8,974	8,910	9,750	8,873	13,878	12,675	13,051	8,437	10,054	9,213	6,240	260	110,315
サブホール	4,502	3,814	5,184	2,292	2,940	3,827	3,331	3,342	5,092	2,906	3,230	150	40,610
ギャラリー	3,401	2,129	4,136	9,082	950	4,084	5,090	6,093	2,703	3,574	3,541	0	44,783
マルチスペース	2,251	1,686	1,852	1,191	1,020	1,478	1,975	1,627	1,575	1,989	1,968	303	18,915
文化芸術事業本数	3	4	0	1	4	2	2	2	3	1	4	0	26
芸術鑑賞事業	2	2	0	0	0	0	2	1	1	0	2	0	10
芸術創造事業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
創造活動支援事業	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	6
人材育成、普及事業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	5
連携事業	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	4
文化芸術事業延べ観客数、参加者数	1,808	1,944	0	46	320	285	2,768	1,122	849	41	1,257	0	10,440
芸術鑑賞事業	1,775	1,741	0	0	0	0	2,768	897	501	0	1,033	0	8,715
芸術創造事業	0	0	0	0	141	0	0	0	0	0	0	0	141
創造活動支援事業	0	203	0	0	172	0	0	0	300	0	176	0	851
人材育成、普及事業	33	0	0	0	7	219	0	0	0	41	48	0	348
連携事業	0	0	0	46	0	66	0	225	48	0	0	0	385

2 稼働率

項目	R1												累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
稼働率(日数単位)	87%	81%	92%	97%	86%	92%	96%	96%	99%	90%	83%	43%	90%
メインホール	81%	70%	71%	100%	100%	87%	89%	95%	95%	100%	76%	40%	87%
サブホール	92%	100%	100%	96%	96%	96%	100%	100%	100%	100%	96%	33%	96%
ギャラリー	76%	57%	96%	96%	53%	89%	96%	96%	100%	62%	69%	0%	79%
マルチスペース	97%	97%	100%	96%	96%	96%	100%	93%	100%	96%	92%	100%	96%
稼働率(利用区分単位)	80%	73%	86%	91%	82%	87%	92%	90%	96%	86%	79%	32%	84%
メインホール	67%	61%	53%	86%	87%	76%	82%	86%	92%	92%	67%	33%	76%
サブホール	95%	97%	100%	96%	98%	96%	96%	100%	100%	100%	95%	33%	97%
ギャラリー	76%	57%	96%	96%	53%	89%	96%	96%	100%	62%	69%	0%	79%
マルチスペース	82%	75%	93%	86%	89%	88%	93%	78%	91%	90%	86%	60%	85%

3 文化芸術事業の実施状況

日付	会場	事業名	内容	料金	入場者数
4月3日	メインホール	松竹大歌舞伎	2017年に続き2度目の開催となった松竹大歌舞伎。歌舞伎界きっての人気俳優、松本白鸚・松本幸四郎の襲名披露公演であったため、情報公開当初より問合せが相次ぎ、チケットは発売開始後15分で予定枚数終了となった。当日は冒頭に、「一期一会のお客様とのつながりを大切にしたい」という白鸚氏の希望で襲名披露口上が述べられ、来場者には一際満足度の高い公演となった。	全席指定：6,500円	982名
4月21日	メインホール	井上道義指揮 読売日本交響楽団	指揮者・井上道義とソリスト・神尾真由子（ヴァイオリン）を迎え、読売日本交響楽団の公演を開催。地域媒体を中心とした広報活動が功を奏し、当日は多くの来場者で賑わった。井上氏の世界観、神尾氏の超絶技巧と読響サウンドの融合による華やかなステージに、客席からは「ブラヴォー」のかけ声と惜しめない拍手が鳴り響き、大盛況となった。	全席指定 S席 4,500円 A席 3,500円 学S 2,500円 学A 1,500円	793名
4月29日	メインホール	ウィーン少年合唱団・カペルマイスターによる音楽講座	5/12に開催する「ウィーン少年合唱団2019」の関連企画として、合唱団の指導者であるカペルマイスターによる音楽講座を、市内の学校関係者を対象に開催した。合唱指導におけるポイントや注意点などの講義のほか、カペルマイスターによる合唱指導を実際に体感できる場も設け、実践性の高いプログラムとなった。世界的合唱団の指導法に触れることができる貴重な機会に、質疑応答では多くの質問が寄せられるなど受講者の意欲の高さが伺えた。	無料	33名
5月12日	メインホール	ウィーン少年合唱団2019	世界的な知名度を誇るウィーン少年合唱団の公演を開催。貴重な来日公演ということで注目度も高く、チケットは完売となった。オーストリアと日本それぞれに馴染みの深い曲の数々を通して、合唱の醍醐味を感じていただくことができた。	全席指定 S席 6,000円 A席 5,000円	985人
5月12日	メインホール	ウィーン少年合唱団2019 市内合唱団共演	5/12「ウィーン少年合唱団2019」の関連事業として、市内の聖セシリアの中高校生26名による合唱団とウィーン少年合唱団の共演を企画した。ともに「ふるさと」を合唱し、歌を通して交流を深める貴重な機会となった。	合唱参加費 無料	出演学生 26人 合唱顧問 2人
5月15日	ホワイエ	スプリング・ホワイエコンサート	ヴァイオラとクラリネットという珍しいアンサンブル「ヴァイオリネット」による演奏会を開催した。2つの楽器に共通する暖かい音色が好評を博し、時には観客から手拍子が入るなど、和やかな雰囲気での公演となった。	無料	175人
5月25日	メインホール	ライナー・キュッヒル ヴァイオリン・リサイタル	世界最高峰のオーケストラ、ウィーン・フィルのコンサートマスターを長年務めた世界的ヴァイオリニスト、ライナー・キュッヒルを迎え、リサイタルを開催した。キュッヒル氏来日時インタビューが実現し、全国紙2紙にインタビュー記事が掲載されたことでチケット販売数を大きく伸ばすことができた。公演は最新アルバムに収録された楽曲を中心に、ヴァイオリンの魅力が存分に味わえる充実したプログラムで、クラシック初心者、上級者ともに満足度の高い公演となった。	全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円 学S 2,000円 学A 1,500円	756人
7月26日	ロゼホーム つきみ野	お出かけコンサート vol.4	普段ホールへ来館することが難しい方をメインターゲットに、芸術文化の魅力を発信する「お出かけコンサート」を、市内の介護サービス施設（ロゼホーム つきみ野）にて開催した。施設のご利用者様と、隣接のケアハウスにお住まいの方々が集まり、歌、ピアノ、アコーディオンによる生演奏を楽しまれた。聴き馴染みのあるクラシック音楽、シャンソン、タンゴの他、日本歌曲や歌謡曲も織り交ぜたプログラムで、一緒にメロディーを口ずさむ姿が見られた。観客からは楽しいひと時だったとの感想が多く寄せられ、音楽を通してシニア世代に元気を届けることができた。	無料	46名
8月7日	大和市民交流拠点ポラリス	サマーホワイエコンサート「夏休みスペシャルコンサート@ポラリス」	やまとみらい運営施設の一つである「市民交流拠点ポラリス」にて初のアウトリーチ公演を開催。親子連れが圧倒的に多く、夏休みということもあり三世代ファミリーの来場も多かった。出演アーティストの「オトハコ」は、子ども向けコンサートを全国で行っているグループで、参加型のプログラムを多くの親子連れが楽しまれた。再演を希望する声も多く、満足度の高い公演となった。	無料	151人

8月12日	サブホール	公募による青少年ダンサー×鈴木ユキオ「星の約束」	ホールと、プロのコンテンポラリーダンサーの鈴木ユキオ氏、一般市民の青少年（13～18歳）が協力して創作した、大和発のオリジナルダンス作品を上演。6/23に開催したワークショップとオーディションを経た7名の青少年ダンサーが出演した。約2ヶ月間、計11回の稽古を実施し、約1時間のステージを青少年ダンサーだけで演じた。公演内容だけでなく、演出・振付を担当した鈴木ユキオ氏による終演後のアフタートークも、多くの方から好評をいただいた。	全席自由 1,000円	141人
8月7日 8月19日	・大和市民 交流拠点ポ ラリス ・ギャラリー	サマーインターンシップ 2019	市内在学・在住の高校生・大学生を対象としたインターンシップを2回に分けて実施。8/7「夏休みサマーコンサート@ポラリス」と8/19「夏休みギャラリーワークショップ」の運営に計7名の学生が参加した。公演制作についての講義や接遇研修を受けたのち、実際にスタッフとして準備、接客から撤収まで、ひとつおりの公演運営業務を担当した。終了後には振り返りを行い、それぞれがこのインターンシップを通じて何を学び得たかを発表した。学生たちに自主事業の制作過程を知っていただく良い機会になった。	無料	7人
8月19日	ギャラリー	夏休みギャラリーワーク ショップ 「オカリナ絵付けと演奏& 草笛教室」	夏休みの子ども対象事業として、オカリナ絵付けと演奏・草笛演奏のワークショップを開催。参加者は保護者同伴の小学校低学年で、計21名が参加した。講師によるオカリナと草笛の模範演奏や実際の演奏体験を通して、楽器演奏の楽しさを伝えることができた。また、オカリナの素材や草笛に使える草についてのお話もあり、自然の素材で作られた楽器を通して、身の回りの自然環境に目を向ける機会ともなった。	参加費 500円	午前：10人 午後：11人
9月14日	サブホール	東儀秀樹 雅楽ワーク ショップ	10/19の東儀秀樹公演の関連事業として雅楽ワークショップを開催した。10月の本公演のチケット購入者と大和市民在在学の中高生（無料招待）を対象とし、市民に雅楽に興味を持っていただくきっかけをつくることを目的とした。中高生への周知は、特に芸術に力を入れている学校に協力を依頼し、生徒へのチラシ配布により行った。東儀秀樹本人による雅楽器「笙」「箏」「龍笛」のレクチャーの後、「浜辺の歌」「星に願いを」「誰も寝てはならぬ」など様々なジャンルの名曲を雅楽器で演奏。参加者が雅楽を身近に感じることができ、高い満足度を得られた企画となった。	全席指定 一般：500円 中高生：無料	219名 (一般164名／中 高生55名)
10月19日	メインホール	東儀秀樹～雅楽の世界	幅広い活躍で話題の雅楽演奏家、東儀秀樹の公演を開催。あまり馴染みがなく難しいというイメージの雅楽に親しみを持っていただくため、第1部・第2部それぞれに工夫を凝らした。第1部では雅楽奏者3名と舞人2名が演奏と舞を披露し、東儀氏が初心者にも楽しめるようわかりやすくユーモアを交えて解説。第2部は、ポップス、日本歌曲、ロック、ジャズなどの現代音楽やオペラアリアなどのクラシック音楽を雅楽器で演奏するという東儀氏ならではのスタイルで、雅楽の可能性の広がりを表現した。また、東儀氏によるピアノ即興演奏、ジャズ演奏もあり、突然のサプライズに客席は大きな盛り上がりを見せた。	全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円	896名
10/26 10/27	メインホール	「最貧前線」 『宮崎駿の雑想ノート』より	ジブリ映画で知られる宮崎駿の原作を舞台化した演劇作品「最貧前線」を2日間にわたり上演した。水戸芸術館の30周年記念事業である本公演は、全国8ヶ所中大和が最終公演ということもあり話題性も高く、チケットは両日とも完売となった。内野聖陽、風間俊介、溝端淳平、ベンガルら著名キャストの圧巻の演技力で、戦時中を舞台とした心に響く物語が生き生きと表現され、観客を魅了した。最終日は出演者が舞台上で1人ずつコメントを述べる場面もあり、来場者満足度の高い公演となった。	全席指定 8,000円	10/26 931名 10/27 941名
11月3日	メインホール	大和市民文化創造拠点シリウス開館3周年記念 八神純子Live キミの街へ～Here We Go!	1970年～80年に数々のヒット曲を生み出した八神純子を招き、開館3周年記念事業の一つとして開催。近年日本での活動を再開した八神氏だが、今もなお圧倒的な歌唱力を持つという評判から、チケットは早い段階で予定枚数終了となった。公演では評判通りの歌唱力で会場を魅了し、スタンディングで往年の名曲を堪能する観客も多く見られるなど、3周年記念にふさわしい盛り上がりとなった。	全席指定 6,000円	897名
11月4日	サブホール	地球交響曲第八番～宇宙の 声が聴こえますか～	開館3周年記念事業の一つとして、ドキュメンタリー映画「地球交響曲第八番」を上映。「自然の中の人智の及ばぬ力」にフォーカスしたドキュメンタリー作品であり、全館の3周年イベントのテーマ「繋がる大宇宙」とも通じる内容であったためか、券売は好調に伸び2週間前に完売となった。当日は、作中に登場する「神楽」に関する大和天満宮の山本宮司によるお話もあり、全館イベントのテーマを掘り下げるホールならではの取組みを多くの方に体感していただくことができた。	全席指定 500円	225名

11月4日	メインホール ホワイエ	水のワークショップ～水の不思議を知ろう～	SPSが持つコンテンツをベースに企画。主に小学生を対象に、生命を支える水の不思議や水を育む森の力を、講義や実験キットを用いて解説した。講師が水や森について問いを立てる場面では相次いで手が挙がるなど参加者の反応も良く、楽しみながら環境への意識を高めてもらうことができた。また、水の表面張力を利用してコースターにマーブル模様を写し取る「マープリング」体験も織り交ぜ、子どもたちが飽きないよう工夫を凝らした。	無料	25名
11月4日	エントランス 特設ステージ	やまとみらいまつりスペシャルトークセッション Part1「繋がる大宇宙」 Part2「宇宙の中の私たち～過去・現在・未来～」	開館3周年記念事業のフィナーレとして、クイズ番組の司会で知られる楠田枝里子と、様々な分野の専門家3名によるトークセッションを開催。宇宙、地球、自然、人間といった壮大なテーマを扱いながらも、楠田氏とゲスト3名の軽快なトークに、会場が笑いに包まれる場面も多かった。エントランス特設ステージでの開催であったため、途中で足を止めて観覧する方も見られ、開催場所の利点を生かすことができた。トークセッション後のクイズ大会では正解者に限定グッズをプレゼントし、2日間にわたるイベントの最後を盛大に締めくくることができた。	無料	420名 (Part1, 2合計)
12月8日	サブホール	「もっと知りたい！寄席囃子の世界」 (振替公演)	同日開催の「落語フェスタ やまと寄席」の関連企画。10月13日に開催予定であったが、台風の影響により振替となった。二ツ目の落語家と寄席囃子の演奏者が出演し、寄席を支えるお囃子の役割について紹介した。実際に三味線や太鼓に触れるといった参加型の内容もあり、落語をより身近に感じていただける内容となった。	参加費 500円	48名
12月8日	サブホール	落語フェスタ やまと寄席 ～その四～ 1. 輝きの会 2. 極みの会	真打昇進を目指している二ツ目の落語家による「輝きの会」、円熟の芸を堪能できる真打の落語家による「極みの会」の2つの落語会を開催。毎年恒例の公演として認知度が高まっていることや、「輝きの会」「極みの会」とともに、幅広い流派から、メディアでの活躍が多い出演者を揃えたこともあり、両公演とも完売となった。「極みの会」では出演者の1名が急病により休演となったものの、代演の三遊亭白鳥師の落語も好評を博し、昨年に引き続き高い来場者満足度を達成した。	全席指定 輝きの会 1,000円 極みの会 3,500円	輝きの会 247名 極みの会 254名
12月18日	メインホール ホワイエ	クリスマス ホワイエ・コンサート	異なる種類の楽器で構成するアンサンブルを紹介し、市民に新たな音色の発見や音楽の奥深さを知ってもらうことを目的に、東京交響楽団のメンバーからなる弦楽四重奏団の無料コンサートをメインホールホワイエにて開催。クラシックの名曲やクリスマスの定番曲など、親しみやすいプログラムで構成した。新聞での告知効果もあり、入場者は過去最高の300名と盛況であった。	無料	300名
1月25日	メインホール	アートマネジメント講座 「魅惑の舞台技術」	公演を作り上げるために欠かせない、音響・照明・舞台の技術を学ぶ講座を開催。中学生から70代まで、幅広い年代の参加者が集まった。各セッションに分かれ、実際の演奏会を題材に、仕込み、リハーサル、本番、撤収までの一通りの流れを体験する実践的な内容とすることで、短い時間で技術を習得できる場を提供できた。演奏は、市内中学校吹奏楽部に協力いただき、父兄に対する成果発表会という形で行った。照明、音響の本番オペレート、マイクケアも全て参加者が行い、公演の裏側を支える役割を体感することで、舞台技術への理解と関心を深めていただくことができた。	体験参加費：1千円 見学参加費：無料	体験者：16名 見学者：25名
2月8日	メインホール	小曽根真×児玉桃 スペシャルコンサート	クラシックとジャズの各界を代表するピアニストが共演する珍しい公演。演奏される機会の少ない「バルトークの2台ピアノと打楽器のソナタ」をメインプログラムとして取り上げた一方、誰もが知っているショパンの名曲や、小曽根真のジャズナンバー、アンコールではチック・コリアと、幅広い層が楽しめる選曲で構成した。音楽雑誌への出演者インタビュー記事の掲載やウェブニュースへの掲載のほか、公演直前に新聞でも紹介されたことで、券売を大きく伸ばすことができた。	S席：4,000円 A席：3,000円	857名
2月22日	サブホール	ホワイエコンサート特別公演 須関裕子ピアノ・リサイタル	気軽に音楽を楽しんでいただくことを目的とした、入場無料のコンサート。通常はメインホールホワイエで実施するが、今回は特別版としてサブホールにて開催した。若手実力派人気ピアニスト須関裕子を招き、ホワイエ開催では聴くことのできないピアノ演奏によりクラシックの名曲をお届けした。来場されたお客様からは、「涙が出た」「知っている曲ばかりで楽しかった」などの声が多く寄せられ、音楽を楽しむ時間を堪能いただくことができた。	無料	176名
2月23日	サブホール	神保彰ドラムワークショップ	日本を代表するドラマー・神保彰によるドラムワークショップを開催。神保氏によるマンツーマンの指導には、未経験者からドラム歴数十年という上級者まで、年齢層も小学生から中高年の方まで幅広い層の受講者が集まった。ワークショップの最後には質疑応答の時間を設け、受講者や聴講者からの質問に神保氏が丁寧に答える場面もあった。終盤には神保氏のソロパフォーマンスも披露され、受講者・聴講者ともに満足度の高い企画となった。	【参加】 一般：3,500円 学生：2,000円 【聴講】 1,000円	48名

2月23日	サブホール	神保彰ワンマンオーケストラ2020～YAMATO de JIMBO	ワークショップと同日に開催した神保彰氏のソロコンサート。「ワンマンオーケストラ」と題され、アーティスト考案の独り多重演奏で、世界水準のドラムテクニックを間近に感じていただくことができた。サブホールの特徴である平土間形式を活かしてセンターにステージを設置、コの字型に椅子を配置してステージを囲み、演奏の迫力を体感できる舞台を演出した。	全席自由：4,000円	176名
2月29日	サブホール	米良美一講演会&ミニコンサート	新型コロナウイルス感染拡大防止のため【公演延期】		
3月7日	メインホール	ズーラシアン meets 東京交響楽団	【公演中止】		